

## 部会の進め方に関する補足事項

## 1. 役割

①八尾市が行った施策評価について、検証いただく。【検証】

②後期基本計画の策定・推進に向けて、必要な取組や進め方などをご提案いただく。【提案】

※「後期基本計画」をより良い計画とするため、数多くの【提案】をいただければと思います。

## 2. 部会各回の進め方(例)

## 【1】事前検討を通して、記載内容に対して議論が必要な施策の把握

①各委員が行う事前検討作業の際に、各施策の評価シートの「②総合評価」欄、「③後期計画の策定に向けて」欄、および「④見直し意向」欄のそれぞれの記述内容に対して、委員のご意見と認識が異なる施策を部会メンバーで共有します。

②総合評価の内容について、意見が多い施策について、より多くの審議時間があてられるよう、部会の最初に「施策ごとの審議の時間配分」、審議する「施策の順番」などを計画します。

## 【2】施策評価シートの「②総合評価」を審議します。【検証】

## 【審議範囲】

②総合評価 (施策評価シートの[②総合評価]欄)

施策全体の総括(結果、展開状況)

※「具体的取り組みについての総括」・「地域と向き合う施策展開についての総括」欄もご参考にして下さい。

①施策毎に、各委員が事前検討において、「認識が異なると感じた点」とその理由を委員で共有します。

②各委員のご意見・ご提案をもとに意見交換し、検討結果を部会意見として集約します。

## 例1)

施策〇は、〇〇の理由から、取り組みの展開状況は「展開できていないところがないところがある→展開できる見込み」と考える。

## 例2)

施策〇は、〇〇の理由から、取り組みの展開状況は「展開できる見込みである→展開できていないところがある」と考える。

## 【3】施策評価シートの「③後期計画の策定に向けて」「④見直し意向」を審議します。【提案】

## 【審議範囲】

③後期計画の策定に向けて (施策評価シートの[③後期計画の策定に向けて]欄)  
今後の課題、取り組み方向など

④見直し意向 (施策評価シートの[④見直し意向]欄の各項目)

施策体系の見直し

役割分担の見直し

施策の成果指標の追加(変更)の必要性

①「評価」に関わる審議を踏まえ、めざす暮らしの姿の実現に向けて、後期計画期間において、「特に力を入れて取り組むべき課題」や「必要な取り組み(アイデア)」などを検討します。

## 審議・検討の視点(例)

基本方針が展開できていない施策 ⇒ どうすれば展開できるか?

指標が未達成の施策 ⇒ どうすれば達成できるか?

取り組み(アイデア)の検討にあたって、第5次総合計画基本計画(目標別計画)においては参画と協働の観点で、各主体がそれぞれの役割を果たしつつ協力し合い、「めざす暮らしの姿」の実現を目指してまちづくりを進めていくために、八尾市、市民、地域(地域活動団体、市民活動団体など)、事業者などの各主体に期待される役割を示しています。このことを踏まえて、「行政が主体的に取り組むこと」だけに限らずに、「各主体と行政が協働して行う取り組み」など、様々な視点で検討をお願いします。

## 必要な取り組み(アイデア)の検討の視点(例)

各主体(行政、市民、地域、事業者など)が協働して行う取り組み

各主体(行政、市民、地域、事業者など)が主体的に行う取り組み など



各施策について、【検証】と【提案】の検討が終われば、次の施策の検討に進みます